

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	やまなし農業女子
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援
構成員数	26名(令和3年5月時点)

1 事業実施方針

「やまなし農業女子」は農林水産省が推進する農業女子プロジェクトの地域グループとして、2019年4月に発足しました。山梨県内で生産者として農業に携わっていれば誰でも参加できます。農家の娘、お嫁さん、新規就農者、農業法人に勤めている女性等、結成以来つながりを広げてきました。経営者として成長するために、メンバーの「知りたい」「やってみたい」の実践の場として、共に学んだり、応援したり、後押しするような活動を行ってきました。そして、活動を通じて、女性ならではの視点を活かし、山梨の農業の魅力为社会に広く伝え、地域活性化を図るために、情報発信やイベント開催等を行っています。

この山梨県においても、農業は後継者不足、高齢化、耕作放棄地の広がりなど、地域の未来に関わるとしても重要で解決しなければならぬ課題を抱えています。

一方で、都心から近いこともあり、農業に魅力を感じ東京から移住してきて農業をスタートする人、東京で就職・結婚したけれど家族でUターンして実家の農業を継ぐ人、地元の農業者に魅力を感じ農業をスタートする人等20代～40代の比較的若い世代が農業の魅力を再発見しつつあります。

しかし、昨年行った県内大学生へのアンケートでは、農業を職業と考える時の課題に「農業収入だけでは生活ができない」という声が多く集まりました。次の世代へなぐためにも、儲からないというイメージを払拭することが不可欠です。経営を安定させる、そして「農業収入だけで十分に豊かな生活ができる」ということを明確にわかり易く広く伝えていく必要性を感じています。

そのためにも女性の力も必要と考えています。近年の農林水産省の報告においても、女性が経営に参加することは経営体の成長に高い効果を出すことがわかってきています。しかし、農業は未だ男性社会なのが現状であって、今なお多くの農家では、経営を一手に担っているのは男性です。何か地域の重要な決定の場に参加するのも、ほとんどの場合が男性です。

一方で、農業者人口の約半数は女性です。女性がつ男性とは違った視点や、能力を活かしきれていないことは明白です。農業界にとっても、地域にとっても大きな損失になっています。女性農業者の活躍の場を広げ、経営力を高めることが、農業の発展につながります。

また、グループとして活動する中で、各々の考えや想いを他のメンバーにシェアして一緒に経営改善や地域貢献を行ったり、「ひとりで頑張ろう、私が我慢すればいい」という思考から脱却し、当事者が違和感を声に出し、周りが気付きサポートすることができてきています。そうした行動の積み重ねが、社会を変えていく一つの要素になるのではないかと考えています。

これまでの2年間の活動を通じ、地域農業及び女性活躍推進に対する課題を整理してきました。今後は課題解決に対する具体的な施策を講じていきたいと考えています。以下に今後実施する予定

の施策をまとめます。

#### 2021 年度、実施予定施策

- ① 実践研修（岡島百貨店、カクイチマルシェ、その他地域イベント等）  
⇒ 人脈作り、販売技能習得、金銭管理（収入・支出管理）の能力向上を目指す。
- ② 経営力強化  
⇒ 5 か年計画を作成し、後継者・経営者として課題解決に向けたアクションを策定できるようになるための研修を実施する。
- ③ HP、SNS 等を通じた情報発信  
⇒ 新規メンバー獲得、地域の信頼の獲得、マーケティング・ブランディング能力の向上を目指す。
- ④ Mirai プロジェクト・未来計画研究社 (<https://miraiken.yamanashi.jp/mirai/>) への参画  
⇒ 大学生に向けて、次世代キャリア教育（メンバーの家に学生が入り込んでインターンシップを通じてキャリア形成を行う）を行う中で、地域で農業者として、「働くこと」、「家庭を築くこと」に触れることで、若い世代の農業に対するイメージをアップデートする。受入れるメンバーにとっては、次世代に伝えることによる、自己キャリアの整理、課題発見、地域貢献を目指す。
- ⑤ やさいバスの地域展開協力  
⇒ B チャンネルの獲得、BtoB のハブの作り方を学ぶ（B チャンネルは店舗、スーパーマーケット、飲食店、加工等、市場以外の売り先を想定）。また、地域コミュニティ形成によるものと遠方を結ぶルートによるもの等の違いを理解する。B チャンネルのマーケットがどのような商品を求めているのかを理解し、その中で需要を探り、需要を生み出す方法を身に付ける。
- ⑥ オンラインもぎ取りイベント開催  
⇒ 都心から近い山梨は観光農園を主に農業経営をしているところが多い。しかし、コロナ禍の中、これまで同様の経営は難しい。そのため、新しいオンライン型の観光農園のスタイルを確立すべくチャレンジする。それにより、今後の顧客獲得を目指す。また、経営者として状況に応じた臨機応変な対応を学ぶ。

（注）具体的に記載してください。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

### やまなし農業女子活動体制

#### 運営メンバー

代表 1 名、副代表 3 名（イベント企画、運営）

ナビゲーター 1 名（イベント企画、運営サポート）

#### メンバー

他 21 名

（注）応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第 4 の（1）の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について 5 名以上の農業者（女性 1 名以上を含む）の氏名を記載してください。

## 3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) オンライン移住就農セミナーへの登壇</p> <p>2) 女性農業者活躍の情報発信（情報発信媒体（HP、SNS など））</p> <p>3) 地域関係機関（農務事務所、JA、全農、地域大学企業、ラジオ局、テレビ局など）との情報交換・求人協力・各種イベント、セミナー等の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来研究社県内大学の COC 事業への協力</li> <li>・ カクイチさまイベント開催</li> <li>・ カクイチさま社長意見交換会</li> <li>・ 南アルプス市長対談</li> <li>・ 山梨県主催農業者セミナー登壇</li> </ul>	<p>実施回数 3 回</p> <p>参加人数 16 名</p> <p>5 名の移住就農者サポート (2020 年度)</p> <p>Instagram</p> <p>フォロワー 400%増加 (2020 年度)</p> <p>大学生 3 名の受入</p> <p>新規メンバー 2 名増員</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) オンライン移住就農セミナーへの登壇継続</p> <p>2) 女性農業者活躍の情報発信（情報発信媒体（SNS など））継続</p> <p>3) 地域関係機関（農務事務所、JA、全農、地域大学企業など）との情報交換・求人協力・各種イベント、セミナー等の協力継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来研究社県内大学の COC 事業への協力</li> <li>・ 岡島百貨店さまイベント開催</li> <li>・ カクイチさまイベント開催</li> <li>・ 全農イベント協力</li> <li>・ 男女共同参画推進センターセミナー講師</li> <li>・ 共立高等看護学院、授業協力</li> </ul>	<p>開催目標回数 4 回</p> <p>投稿数 100 件/年</p> <p>フォロワー数 300 増</p> <p>大学生 4 名の受入</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1)定例会(月1)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングに関する情報交換 → 経営課題を見直す気づきになった。</li> <li>・ECサイトに関する情報交換。 → ECサイトの開設につながった。</li> <li>・農作業に関する情報交換。メンバー圃場視察。 → 作業の効率化、改善の気づきになった。</li> <li>・その他全国の農業女子の取組み、勉強会などの情報共有</li> </ul> <p>2) 実践研修(マルシェ、その他地域イベント等)</p> <p>→ 人脈作り、販売技能習得、金銭管理(収入・支出管理)の能力向上につながっている。</p> <p>3)関係機関(農務事務所、県試験場)での勉強会・</p> <p>→ 参加メンバーとの関係性・ネットワーク構築につながっている。</p>	<p>開催回数12回 (2020年度)</p> <p>圃場視察3回</p> <p>マルシェ開催:11回 (2020年度)</p> <p>オンラインイベント開催: 1回(2020年度)</p> <p>勉強会参加:4回</p>	
<p>(今後の取組)</p> <p>1) 定例会の継続開催</p> <p>2) 実践研修(マルシェ、その他地域イベント等)の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイ、接客方法の実践</li> <li>・イベント参加、収益、効果判断の実践</li> <li>・農、食に関する地域イベントの実践</li> <li>・SNSマーケティングの実践</li> <li>・オンラインイベント等新しいスタイルの実践</li> </ul> <p>3)関係機関での勉強会・研修会参加を通じた関係性・ネットワーク構築</p>	<p>12回/年</p> <p>イベント開催:11回</p> <p>他地域とのオンライン意見交換会開催 現地視察の実施</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
1) Mirai プロジェクト・未来計画研究社 ( <a href="https://miraiken.yamanashi.jp/mirai/">https://miraiken.yamanashi.jp/mirai/</a> )への参加	学生向けアンケート実施 就農へ対する課題整理	
2) HP、SNS 等を通じ女性視点を生かした情報発信	S N S 投稿 125/2 年 H P 新設	
(今後の取組)		
1) Mirai プロジェクト・未来計画研究社への参加継続	ワークライフインターン 実施 3 家庭×2 = 6 回	
2) 経営力強化の勉強会開催 ⇒ 5 か年計画を作成し、後継者・経営者として課題解決に向けたアクションを策定できるようにするための研修を実施する。	勉強会開催：3 回	
3) HP、SNS 等を通じ女性視点を生かした情報発信	勉強会開催：3 回	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考
2021 年 11 月	・研修:オンラインイベントの開催方法について(題材:柿) ・活動紹介パンフレット、カードの作成開始	
2021 年 12 月	・経営力強化勉強会、S N S 発信力強化勉強会 開始 (12 月~2 月) ▽経営力強化勉強会の目的:5 か年計画を作成し、後継者・経営者として課題解決に向けたアクションを策定できるようになる。 ▽SNS 研修の目的:新規メンバー獲得、地域の信頼の獲得、マーケティング・ブランディング能力の向上を目指す。	

2022年1～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修:オンラインイベントの開催方法について(題材:いちご)</li> <li>・実践研修:岡島百貨店(催事マルシェ)</li> </ul> ▽ディスプレイおよび販売に関して、実際のマルシェの中でアドバイスいただく。(研修資料あり)	
-----------	---	--

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの女性農業者の新規確保人数	5人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 5人、雇用就農者 人、アルバイト・ボランティア等 人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。